

若い女性に大もての占い

気楽にまさしくファッション

女性は占いがお好き——最近では都会のビルや地下街で、まるで一杯のお茶でも飲むように、気軽に占いを楽しむ若い女性の姿が見られる。

今や占いもファッション化？
名古屋・栄のセントラル・パークは例年二、八月に占いイベントを行う。今年も恒例の「占い大通り」が二月二日から十一日まで行われる。

東海易学会（中山甲陽会長）の会員が毎日十五人、ずらりと並んで易を見る。すっかり定着したこの催し、一日に数百人が詰めかけるとか。

占ってほしい内容で多いのは恋愛と結婚、たまには仕事のこと。中には「私はどうしたらいいのかわかるか」と言ってくるか弱い（？）女性も。「自分の頭で考えず頼って断と何でもこなす。」

占ってほしい内容で多いのは恋愛と結婚、たまには仕事のこと。中には「私はどうしたらいいのかわかるか」と言ってくるか弱い（？）女性も。「自分の頭で考えず頼って断と何でもこなす。」



85年はどんな卦（け）が……真剣に占う竹村亜希子さん（名古屋・東区葵一「占いの玉手箱」で）

くるのは女性に多い。占っているのは、情報提供であって宗教ではありません。自分の人生をどう生きるかの参考にしたいもの。そこを間違えないで」と竹村さん。

気になる見料も、大家に見てもらえば五千円〜一万円なのが、こうした占いコーナーなら千円と昼食代並み、ここにも受ける理由がありそう。



◇WOMEN

351「女たちは21世紀を」

（岩波書店、四百七十六円、九百五十円）

今年は「国連婦人の十年」最終年。この本には女性史研究家、ジャーナリスト、弁護士、洋菓子研究家、音楽家、管理職など、いろいろなジャンルの女性たち三百五十一人

WOMEN 351
女たちは21世紀を



岩波書店
1990年10月発行
定価 950円
ISBN 4-16-310351-1